

## 大弦小弦

最近、朝夕の風が涼しくな  
った。そろそろ衣替えの季節  
かと長袖を取り出し始めた。  
来月から制服が冬服に切り替  
わる学校も多いだろう▼沖縄  
市にある、不要になった制服  
を集めて安価で提供する団体  
「子ども応援団笑びん」。2015年夏  
から活動し、学生服を専門で再利用する  
活動では県内で先駆けという▼代表の森  
田好美さん(53)は娘2人のシングルマザ  
ー。十数年前、娘の中学、高校入学時に  
一式で数万円かかる制服の購入に頭を悩  
ませた経験から始めた。認知の高まりや  
コロナ禍で利用者は年々増えている▼譲  
り受けた総数は約9千着で、活動拠点の  
自宅には現在も2千着以上が並ぶ。自身  
で洗濯し、カビ防止のため室内のクーラ  
ーはつけたまま。手間も費用もかかる  
が「わらびんちゃー(子どもたち)」に「笑  
顔」をかけたその名の通り、子どもたち  
の笑顔のために活動する▼目標は、シン  
グルマザーのためのシェアハウスの運営  
と語る。発熱した幼い娘を抱え、もう一  
人の手を引いて病院に駆け込むなどした  
過去の苦勞が背景にある。制服の再利用  
と共通するのは「互いに支え合う環境を  
つくりたい」との思いだ▼笑びんのテー  
マソングが最近できた。公募した歌詞で  
は、活動を「思いやりのリレー」と表現  
する。つなぐバトンには、支え合いの思  
いがあふれている。

(伊集竜太郎)